

## スポットライト

### 山の素晴らしさ、自然の素晴らしさを 日本百名山を踏破

今回は、昨年8月に飛騨山脈の焼岳を登頂し、「日本百名山」の全山踏破を達成した笈原さんを紹介します。



笈原好子さん  
(蛇田地区)

笈原さんは、子どものころから山が好きで、最初に百名山を登ったのは、30代のころ、山形蔵王でした。60歳間近になって、百名山のうち半分を達成したことに気付き、そこから全山踏破を目指してきました。

記念すべき百名目は、飛騨山脈の焼岳で、山登りの仲間たちが全国から集まって一緒に登り、山頂では、みんなに祝ってもらったことが、最高の思い出になったそうです。

笈原さんは「山にはそれぞれ特徴があるので、どの山も、自然の素晴らしさを実感させてくれます」と山の魅力を話していました。

今後の目標を尋ねると、「残り20峰ほどとなった東北百名山の踏破を目標にしています。

年々ともなびつつも体力は落ちていくので、なるべく体力が落ちないように日常生活で意識しながらトレーニングをしています。いつまで登れるかわかりませんが、体が動く限り、山登りを続けていきたい」と意欲をみせていました。



▲百山目の焼岳 登頂!!

※『日本百名山』・・・登山家であり文筆家の深田久弥の随筆(1964年刊行)で、日本列島の山から深田が定めた基準で百座を選び、それらの山を主題とする百の随筆である。日本の多くの山を踏破した経験から、「品格・歴史・個性」を兼ね備え、かつ原則として標高1500m以上の山という基準を設け、「日本百名山」を選定した。

### 今月の表紙から

2月5日(金)、市図書館で「あかちゃんおはなし会」が行われました。約20組の親子が参加し、同館の読み聞かせボランティアの皆さんが、手遊びや童謡を取り入れながら、「ひよーん」「うさぎちゃんとううえんち」「いないいないばあ」などの5冊の絵本を読みました。

子ども達はお母さんのひざの上で、絵本をじーっと見つめ、時折、読み手の声に反応し、手を動かしたり体をゆすったりして絵本の世界に引き込まれていました。なかには、リズムをとって拍手する子もいました。

参加した方は「あつという間に時間が過ぎた感じです。家でも絵本を読んでもあげていますが、こんなにも子どもが夢中になるのは初めてで、参加してとても良かったです」と話していました。

市図書館では、乳児のころから本に親しんでもらおうと初めて企画したもので、今後も、毎月第一金曜日午前10時30分から11時まで行われる予定です。また、ほかにも、幼児を対象とした「紙芝居とお話の会」や「たのしいおはなし会」を開催しています。



読み聞かせボランティアの皆さん



▲思わず絵本に近づきました



▶大型絵本も登場!



▲指人形に興味津々



# サークル仲間

なかま ④9

## 美しく若々しい歌声が心を和ませてくれます

石巻童謡愛好会

毎月、第2・4火曜日になると、石巻中央公民館の一室から若々しく透き通るような歌声が聞こえてきます。石巻童謡愛好会の皆さんの歌声です。

平成3年に5〜6人の有志で結成され、現在は25人の女性会員が新田昭夫先生の指導のもと、童謡のほか最近の曲なども取り入れながら、和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。

取材した日は、毎年交流している仙台童謡愛好会の定期演奏会で披露する曲の練習に励んでいました。

歌い始める前に、軽い体操をして身体をほぐし、発声練習をしながら姿勢や口の開け方などを一つ一つ丁寧に確認し曲に臨みます。こうして発せられる歌声は、

女性特有の高く透き通るような歌声となり、間近で聞いていると身震いするような見事なハーモニーを奏でます。

時折、新田先生のユーモアたっぷりの



話や、曲が作られたときの逸話などを交えながら、作者の気持ちや意図を考えながら歌うことを心掛けています。

新田先生は、「曲というのは、作り手が歌い手に託すメッセージです。詩の意味を考えながら歌うことで、より表現力に深みが増し味も出るものですよ」と話していました。そして、その託されたメッセージは、毎年交流を続けている和香園や恵仁ホームの皆さんに披露され、昔を懐かしんでもらっています。

情感溢れる詩が心を和ませ、大人から子どもまで年齢を問わず歌える歌として昔から歌い継がれてきた童謡ですが、社会情勢や学習環境の変化に伴い、耳にする機会が徐々に少なくなってきました。

愛好会の皆さんが奏でる美しいハーモニーは、その機会を絶やさないようにしてくれているだけでなく、多忙な毎日を生きる私たちの心を、和ませてくれる機会も与えてくれています。



## 知っていますか？ 石巻市の・・・

### 紋章(平成17年4月1日制定) その歴史



旧石巻市では、昭和8(1933)年に市の紋章の意匠図案を募集し、400を超える応募の中から、三橋養之助氏(門脇町)の意匠図案が選ばれ、昭和9(1934)年4月10日に制定されました。

平成17年4月、市町合併で新「石巻市」となり、市の紋章については、合併前に石巻地域合併協議会で検討しました。その結果、旧石巻市の紋章を使用することが最良であると判断し、合併時に制定されました。

### 情報をお寄せください

「みんなの広場」は市民の皆さんが参加して、みんなで作るコーナーです。

毎月、次のような方々を紹介しています。

自薦、他薦を問いませんので、情報をお寄せください。

- ・ 全国大会などで実績のある元気で明るい若者
- ・ 音楽、スポーツ、ボランティアなど活発なサークル活動をしている団体
- ・ 元気な高齢者
- ・ 仲の良い3人以上の兄弟姉妹

☎ 広報広聴課 (内線 211)

## にぎやか家族 ⑤8

桃生・新田地区



左から、あや希ちゃん、香里奈ちゃん、香那陽くん

佐藤	かなや香那陽くん (10歳)	《がんばりたいことや将来の夢》 野球選手
	あや希ちゃん (8歳)	学校の先生
	香里奈ちゃん (1歳)	お兄ちゃん、お姉ちゃんのようにになりたい

<両親から>

感謝の気持ちを忘れず、希望と夢をいつまでも持ち続ける、心豊かな人になってほしい。